

## マーケットの動き（2026年4月27日～5月8日）

先週の米国株式市場は、4月24日比で上昇しました。

中東情勢を巡る不透明感が残るものの、市場では依然として事態収束への楽観的な見方が根強く相場を支えました。決算発表が本格化するなか、データセンター向け投資の拡大やCPU需要の強さが確認されたことで、AI・半導体株が再び相場の牽引役となり、ナスダック総合株価指数とS&P500種株価指数は、期間中にいずれも最高値を更新する場面がみられました。

欧州は、ドイツ株式市場が上昇した一方、英国株式市場は下落しました。

## 投資環境見通し（2026年5月）

## 外国株式相場は、米国、欧州ともに底堅く推移

企業業績については、AI関連銘柄を中心に増益基調が続き、全般的にみて引き続き堅調とみています。米国株式相場は、原油価格の高止まりや消費者心理の悪化が懸念されますが、今後は大型減税法に基づく税還付の効果なども見込まれる中、今後の景気や企業業績の動向に沿って底堅く推移するとみています。欧州株式相場は、原油価格の動向次第でECB（欧州中央銀行）による早期の利上げ観測が広がる可能性があります。域内諸国の財政拡張政策が支援材料となり、底堅く推移するとみています。

	5月8日	騰落率			
		4月24日比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	7,398.93	3.26%	9.08%	9.96%	30.63%
NYダウ	49,609.16	0.77%	3.55%	5.58%	19.92%

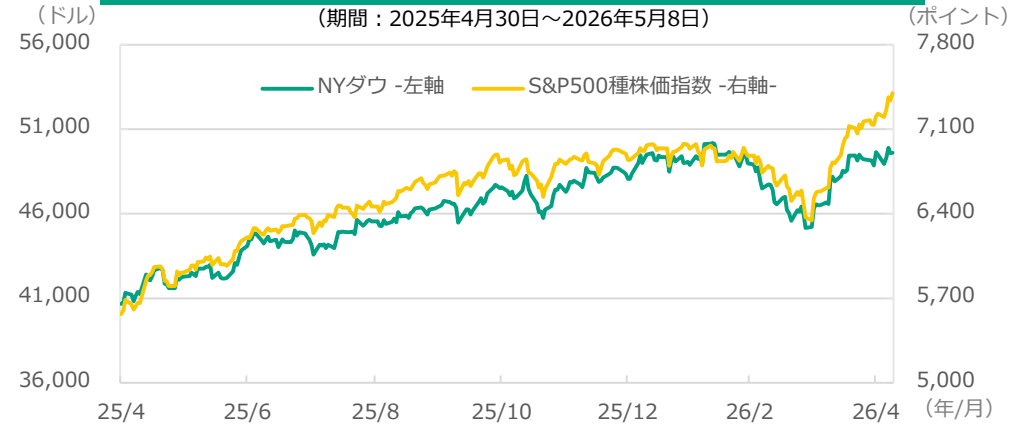
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

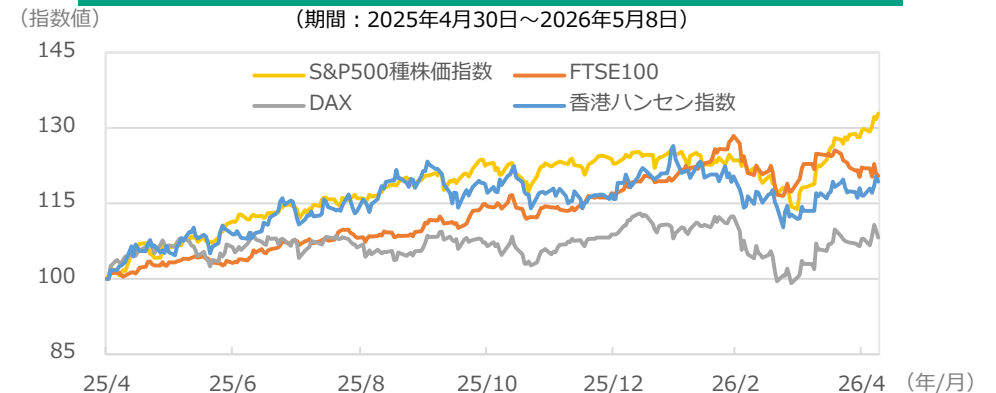
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202605\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202605_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 米国株価指数の推移



## 主要国株価指数の推移



※2025年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成